

## XIV パッケージソフト（メール処理方式）の原則提供終了

2014年12月11日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社





# 1 . 現行 ( 第 5 次 ) N A C C S におけるパッケージソフトの現状

現行 ( 第 5 次 ) N A C C S においては、以下の 3 種類の処理方式のパッケージソフトを利用者に提供している。

処理方式	利用ネットワーク	利用プロトコル	特徴
インタラクティブ処理方式	N A C C S ネットワーク ( 閉域網 )	H T T P	処理要求電文を 1 電文送信するごとに、処理結果電文を受信する方式。原則として常時接続タイプの回線が必要となる。
メール処理方式	N A C C S ネットワーク ( 閉域網 )	S M T P / P O P 3	複数の処理要求電文を一括して送信し、一定時間後、複数の処理結果電文を一括して受信する方式。一括送信 / 一括受信を行うことから、必ずしも常時接続タイプの回線を必要としない。
n e t N A C C S 処理方式	インターネット	H T T P S	インタラクティブ処理方式と同様の特徴を持ち、インターネットを介した接続を可能とする方式。また、インターネット上においても安全な通信を行うため、クライアントデジタル証明書を使用するとともに、通信の暗号化を行っている。

N A C C S と直接接続する方法の他、利用者のゲートウェイサーバ配下にメール処理方式のパッケージソフトをインストールした P C を設置し、ゲートウェイサーバを介して N A C C S と接続する方法もある。

## 2 . パッケージソフト（メール処理方式）の原則提供終了について

- n 以下の2つの理由により、次期（第6次）NACCSにおいては、ゲートウェイ配下利用の場合を除き、パッケージソフト（メール処理方式）の提供を原則終了する。
- n パッケージソフト（メール処理方式）利用者はnet NACCS処理方式への切替をお願いしたい。

### 1 . パッケージソフト（メール処理方式）の主要な役割は終了している

- 常時接続タイプの回線を必要としないため、比較的少ない処理件数であれば、通信料金を低く抑えられることがメリットであり、常時接続タイプの回線コストが高額であった時代には本処理方式のメリットは大きかった。一方、一括送信後、一定時間（現行（第5次）NACCSでは3分）が経過した後でないとは一括受信ができないため、即時性に欠けるというデメリットがある。
- 現在では低廉で高速なインターネット回線が利用可能（後述）であるため、パッケージソフトの一方式としてのメール処理方式の存在意義が薄れてきており、パッケージソフトのメール処理方式の役割は終わったと考えられる。

### 2 . パッケージソフトの処理方式の集約により将来的にシステムのスリム化を図りたい

- 現在パッケージソフトを利用した接続形態として3種類の方式を提供しており、それぞれの提供のために開発コストや事務処理コストを必要としている。
- パッケージソフトの処理方式を集約していくことにより、センターとしてシステムのスリム化（将来的にはコストの削減）を図っていきたい。

### 3. パッケージソフトのメール処理方式とnetNACCS処理方式のコスト比較

パッケージソフトのメール処理方式とnetNACCS処理方式の現行ネットワークにおける通信コストをモデルケースを使用して比較した場合、以下のとおり、netNACCS処理方式の方が低コストとなる。

(円、税抜き 4)

項目	メール処理方式 + NACCSネットワーク ダイヤルアップ回線		netNACCS処理方式 + インターネット回線 1	
回線速度	上り、下りとも64kbps		上り：最大1Mbps(ベストエフォート) 下り：最大12Mbps(ベストエフォート)	
初期費用	ISDN回線設置初期費 2	2,800円 (契約料、工事費込)	ADSL初期工事費等 (工事費、契約料込)	3,000円
	NACCSネットワーク 加入料	56,000円	クライアントデジタル証 明書	0円
<b>初期費用合計</b>		<b>58,800円</b>		<b>3,000円</b>
月額費用	NACCSルータ使用料	3,700円 (海上の場合)	ADSLモデム料	0円
	ISDN基本料 2	2,650円	ADSL使用料 (プロバイダ料金含む)	3,247円
	ISDN通信料 3	1,800円		
	NACCSダイヤルアップ 従量料金	無制限：1,500円		
<b>月額費用合計</b>		<b>9,650円</b>		<b>3,247円</b>

出所：平成26年12月2日現在のOCNホームページ、NTT東日本ホームページの情報をもとにしてNACCSセンターにて作成。

#### 【比較の前提】

- 1：インターネット回線はOCNの「OCN ADSLセット 12Mスマート タイプ2」を想定。電話回線が必要ないタイプ。
- 2：ISDN回線としてNTT東日本 INS ネット64・ライトを想定。
- 3：市外通話30円/分(20km～60km)にて、1日30分、月20日間のNACCS利用を想定。
- 4：上記の比較にはNACCS自体の利用料金は含まれていない。

## 4. パッケージソフト（メール処理方式）利用者のnetNACCS処理方式への切替について

1. パッケージソフト（メール処理方式）の役割は終了していると考えられるため、ゲートウェイ配下での利用を除き、原則として提供を終了する。
2. パッケージソフト（メール処理方式）利用者はnetNACCS処理方式への切り替えをお願いしたい。利用者においてインターネット回線の設置に係る手間が発生するものの、それを上回るコストメリットはあると考える。
3. netNACCS処理方式に切り替えることにより、インターネットを使用することになるが、netNACCS処理方式ではクライアントデジタル証明書<sup>1</sup>の導入や通信の暗号化といった適切なセキュリティ対策が施されており、セキュリティが低下することはない。
4. ゲートウェイ配下でパッケージソフト（メール処理利用方式）を利用している利用者に対しては、従来通り提供を継続する。

